



ファシリテーター養成講座 開催しました！

6月22日（金）から6月23日（土）にかけて、香川大学研究交流棟にて、ビジネスコーチ、ファシリテーターとして活躍されている谷益美さんを講師に迎えて、ファシリテーター養成講座を開催しました。22人の受講者が、多様な関係者が参加する場づくりにおいて参加者の主体性を引き出すコミュニケーションを学びました。

■会場 香川大学研究交流棟5F
研究者交流スペース

■講師 谷 益美 氏 (Office123 代表)

1日目

平成30年 6月22日（金）
19:00~21:00



2日目

平成30年 6月23日（土）
9:00~18:00



1日目

初日は、ファシリテーション基礎講座の受講生と合同で講座を受講しました。ファシリテーションとは「引き出してまとめるコミュニケーションスキル」であり、会議などにおいて、相手から情報や意見をいかにして引き出すかについて解説がありました。

相手から意見や情報を引き出すための「深める」「広げる」という2点のポイントでは、対話の中で「例えば？」とか「他にはどのようなものがあるの？」と尋ね、議論の場で参加者すべてから聞くことで、意見の深みと広さを充実させることができると解説がありました。

得られた意見や情報は、その場で「見える化」をしながらまとめるという必要性と、その方法について説明がありました。5W1Hといった様々なフレームワークを利用することで、確認事項の漏れなどが無くせるという方法も説明されました。



2日目

2日目は、1日目の講義を踏まえ、実践による技術の取得が中心の講義でした。

まず、受講者自身を4つのタイプに分け、それぞれの特性を踏まえてグループワークを行いました。グループワークでは、フレームワークを元に話し合いながらまとめる等、実際に会議を運営しながらファシリテーション技術を学びました。

午後からは、受講生自身が勤め先などで実際に担当している会議内容をテーマに、より実践的にファシリテーションを学びました。受講生が担当している会議を分析すると、参加者の意識が低い、会議の準備が不十分、ゴールや目標が設定できていないなどの課題が浮き彫りになり、講師の助言を受けながら解決方法を学びました。

長時間の講義でしたが、「今日学んだことをそのまま職場での会議で実践したい！」という感想があるなど、受講生はファシリテーション能力の向上を実感していました。

